



17元広島東洋カープの安部友裕さんとゴッホ向井さんのトークショー18式典のオープニングを飾った亀居城太鼓19大竹中央幼稚園の園児の元気な歌声20スクリーンに大映しされた中国新聞の記事で振り返る70年を手話通訳21「歴史の証人」写真展で懐かしい写真に見入る来場者。



9月1日、アゼリアおおたけで、市制施行70周年記念式典と記念イベント『大竹まるごとフェスタ』が催されました。式典には、山根健嗣県副知事(湯崎英彦県知事代理)、松井一實広島市長(全国市長会会長・広島県市長会会長)らを来賓に迎えて70周年を祝いました。屋内外のステージでは、歌やダンス、太鼓や吹奏楽演奏、トークショーなどのアトラクションが繰り広げられ、多くの観客を楽しませてくれました。また手すき和紙の実演や懐かしの写真展も開催され、終日来場者でにぎわっていました。



イベントなどで撮影した写真は、「広報おおたけ」市ホームページ、市公式SNSや市の刊行物で使用するほか、マスメディアなどに提供することがあります。



22市制施行70周年記念切手シートや特産品の販売23ブース24酔の醸造元の直販4癒やしの歌声メロロ・イエローの演奏25大竹手すき和紙の実演26亀居城太鼓のほら貝がホールに響きます。



市制施行70周年記念式典・記念イベント 宝は「人」の大竹市。

大竹市の宝は「人」であると思っています。大竹を築き上げてくださった「人」に感謝し、これから大竹を創っていただく「人」には、大竹を愛し、誇りに思ってください。多くの市民の皆様が、幸せを感じながら、わがまちに誇りを持って暮らしていただける、そして「住んでよかった」と感じていただけるまちを目指し、皆で力を合わせて進んでまいりたいと考えています。

令和6年9月1日

大竹市長 入山欣郎

祝 大竹市制施行70周年



1式典開場2市長、議長らが来場者を出迎えます3入山市長の式辞4壇上の来賓の皆さん5二階堂和美さんの熱唱6会場で観客と触れ合いながら歌う「大竹で生きている」7子どもたちと踊る日向カンナさん8記念品の入った70周年記念魔法使いコイちゃんの紙バッグ9ABEATのダンス10英語を交えた三宅由利子さんのステージ11三宅さんの同級生の息子さんから花束のプレゼント12炎天下で安芸大瀧太鼓の熱演13おおたけコーラス愛好会などのコーラスグループの共演で市民歌「いざいざ共に」と「港町十三番地」の合唱14司会を務めたRCC柳信行アナウンサー15大竹高校吹奏楽部の演奏16安芸大瀧太鼓、汗だくの演奏。





大会MCにゴッホ向井さん決定!
前回に引き続き、今回も大好き大竹応援大使のゴッホ向井さんが司会を務め、大会を盛り上げてくれます。

**出場エントリー期限を
10月27日⑩まで延長**

まだまだ募集中!
エントリー
お待ちしております!



盛り上げ企画、盛りだくさん!
当日は盛り上げ企画も多数開催予定です。マラソンに参加しない方も楽しめます。
バンブーライブもリレーライブ
大好き大竹応援大使マッキーさんたちによる、「バンブーライブ」特別編。さまざまな音楽バンドがリレー形式で演奏し、冬の大竹をアツク彩ります。

アトラクションもたくさん!
フィンランド発祥のニュースポーツ「モルック」や「ボルダリング」など、子どもから大人まで楽しめるコーナーや、飲食などの出店もあります。食べて遊んで応援して、最高の1日を過ごそう!



詳細は特設ホームページに
随時掲載します。
特設ホームページはこちら
から

走る人も そうでない人も 楽しく過ごす1日だ! 瀬戸内リレーマラソンin大竹

12月15日⑩ 晴海臨海公園

問い合わせ
実行委員会事務局
(生涯学習課内)
☎53-6677

生涯スポーツで 元気なまちに 募集 スポーツ推進委員

問い合わせ
スポーツ推進委員協議会事務局
(教育委員会生涯学習課内)
☎53-6677

スポーツ推進委員は、生涯スポーツの振興を図るため教育委員会から委嘱され、市内で活躍しています。

詳しい活動内容や条件などは、QRコードから検索してください。



活動内容の詳細はこちらから。



申し込みはこちらから。



昭和39(1964)年9月20日撮影。東京オリンピックの聖火リレーの「栄町中継所」で山口県側のランナーから二階堂哲朗市長に手渡された聖火を大竹地区第1走者三浦敬弘選手に手渡す瞬間の写真である。三浦選手はこのとき19歳の陸上選手で大竹駅伝にも出場していた。新出 肇さん(立戸1丁目)提供。

将来の市史編さんのため募集している住時(平成20年ごろまで)の写真として、提供していただいた写真の一部を紹介します。引き続き募集していますので、企画財政課まで連絡をお願いします。

問い合わせ
企画財政課 ☎592124

「歴史の証人」
—平成の写真「栗谷・松ケ原・川手・阿多田」の写真も募集—
として写真を
寄贈していただきました。



市民の皆さんが、自分らしく輝けるまち、いろんな人が、あなたはそのままいいよと言えるまちになったらいいな。心のケアがしっかりできる、気軽に相談できるまちに。

三宅由利子さん(大好き大竹応援大使 左)
ここにずっと暮らしてつづけたい、出て行った人もまた帰って来たいと思えるようなまち、自然や古い建物を大切に作るまちになったらいいな。次の次の世代の人のことを思って暮らしていきたいです。
二階堂和美さん(大好き大竹応援大使 中央)
生まれがここじゃなくても、第2のふるさだと思える温かいまちになれば、誰でも来てもらえるし、住んでもらえる。ご近所づきあいが、当たり前になるまちにしていきたいと思っています。
舞原ミキさん(大好き大竹応援大使 右)

元気いっぱいの子どもたちが
踊りました



私が今こうやってやりたいことを仕事にできているのは、ダンスを教えてくださいの先生がいてくれたからです。先生は広島市内からいつも大竹まで来てくださっていました。大竹は、芸術あふれる街だと思います。子どもたちの才能という「芽」に水をやり花を咲かすような「自由な表現」ができる環境やイベントがもっと開催できる街にしていきたいですね。私もその活動に全力で協力させていただきます!
日向カンナさん
(大好き大竹応援大使)



大竹は何でも近くにあって便利。今もいいけれど、10年、20年後を見越したまちづくりをして欲しい。人口減社会になるので、コンパクトシティを目指して人を呼び込めば、まちは生き残っていけると思う。
有田一之さん(左 40代 新町)
有田雅恵さん(右 30代)

岩国出身ですが
大竹は小さいころから生活圏でした



今日は小2の娘がダンスをするので来ました。結婚して東広島から大竹に住むようになりましたが、とても住みやすいまちです。こうしたイベントで活気づくまちになって欲しいと思います。これからも大竹に住み続けたいです。
大迫絵美さん(35歳 元町)

娘がA B E A Tで
踊ってます



若者が住みやすいまち、雇用の充実したまちを望みます。それと大竹はもっと自然を有効活用してにぎわいを創出したらいいと思う。
神谷勉さん(右 66歳 広島市)
大竹のまちに満足しています。もっと音楽イベントがあったらいいな。
藤本勝之さん(左 66歳 御園)

メロー・イエローの
ファンです

市制施行70周年を迎え
まるとフェスタ会場で聞きました
こんなまちになったら
いいね!

安部さんと熱いトークしました
暑かった～



子どもたちが、明るく元気に「大竹出身」ですと言えるまちになって欲しいと思います。そしていろいろな人の口から、いい言葉で大竹市のことが聞けるようになるのがうれしいです。自分も活動の中で、より多くの人に大竹市が身近に感じられ、市外からもたくさん遊びに来てもらえるように発信していきたいです。
ゴッホ向井さん
(大好き大竹応援大使)



市のイメージソング
「ふるさとに吹く風」大竹こそ
歌いました

応援大使の人たちとも話をしていたのですが、芸能関係の人たちが多いので、大きな野外フェスとかできないかなあと。私たちのやっていることを知ってもらおうというのではなく、私たちが「大竹に来て」と、人を呼び込むことができるんじゃないかと思うのです。
マッキーさん(大好き応援大使)



笑顔・元気♥かがやく大竹



19歳のとき
オリンピックの
聖火ランナーをしました

東京オリンピックで、自分が聖火ランナーを務めた写真(7ページ)が『歴史の証人』の写真展に展示されているので見に来ました。聖火をつなぐ責任を果たすため必死で走りました。これからは、石本美由起さんの歌で、大竹をもっとアピールしたらと思います。
三浦敬弘さん(79歳 南栄)